

1. 【開催案内】 日本学術会議主催学術フォーラム
「未来への挑戦ー日本学術会議 100 年に向けてー」
2. 【開催案内】 近畿地区会議学術講演会
「ー 未来の語り口：学術からの貢献 ー」
3. 2020 年度国際交流基金賞について（ご案内）

■-----
【開催案内】 日本学術会議主催学術フォーラム
「未来への挑戦ー日本学術会議 100 年に向けてー」
-----■

・ 日時：2020 年 3 月 30 日（月） 9:30～17:20（9:00 受付開始）

・ 場所：日本学術会議講堂

・ 主催：日本学術会議

・ 開催趣旨：

30 年後に日本と世界はどのようなのでしょうか？ 少子高齢化、AI、ゲノム編集、気候変動、エネルギー問題、自然災害など、私たちの未来を左右する大問題について、日本学術会議は「日本の展望 2020 検討委員会」を中心に議論してきました。今期の集大成として提言をとりまとめるために、学術会議関係者だけでなく産業界や高校生、外国の方も含めた意見を求めて、学術フォーラム「未来への挑戦ー日本学術会議 100 年に向けてー」を開催いたします。ここでは、学術会議創立 70 周年企画の「提言」のエッセンスをいち早くお届けします。

・ 次第：<http://www.scj.go.jp/ja/event/2020/282-s-0330.html>

・ 定員：250 名（先着）（参加費無料）

・ 要・事前申し込み：以下の URL からお申し込みください。
<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>

・ アクセス：東京メトロ千代田線「乃木坂駅」下車、
5 番出口（青山霊園方面）より徒歩 1 分

・ 問合せ先：

日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当
〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34
電話：03-3403-6295

■
【開催案内】近畿地区会議学術講演会

「- 未来の語り口：学術からの貢献 -」

■

人口ボーナスを享受した右肩上がりの時代が終わり、日本社会は、人口減少と高齢化の進行の先頭に立とうとしていると言われていました。
海外の「先進」国のモデルを模倣する時代は終わり、自ら考え、試行錯誤を通じて未来を切り開く覚悟が、私たちには求められています。

今回の学術講演会では、さまざまな立場から＜未来の語り口＞を提示し、今後の日本社会の方向性をめぐって、討議のための素材を提供したいと思います。

今回の講演会開催にあたっては、特に、未来の主人公たる高校生や大学生にも広く参加を呼び掛けたいと考えています。

世代を超えた多くの方の参加を心より期待しています。

◇主催 日本学術会議近畿地区会議，京都産業大学

◇日時 2020年3月8日（日）13:00～17:00

◇開催場所 むすびわざ館2階 ホール

（京都産業大学壬生校地：京都市下京区）

<https://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/access.html>

※駐車スペースがありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

◇定員 約400名（当日先着順）

◇事前申し込みは不要です。

◇プログラム・ポスターはこちら↓

<http://www.scj.go.jp/ja/event/2020/285-s-0308.html>

■

【問合せ先】

日本学術会議近畿地区会議事務局（京都産業大学内）

mail：senryaku-kikaku*star.kyoto-su.ac.jp

（*を@に変更して送信して下さい）

■
2020年度国際交流基金賞について（ご案内）

■

同賞について、推薦依頼がありましたのでお知らせします。

国際交流基金賞は、学術、芸術、その他の文化活動を通じ、国際相互理解の増進や国際友好親善の推進に特に顕著な貢献があり、引き続き活動が期待される個人又は団体を顕彰している賞です。同賞にふさわしいと考えられるものがありましたら、ご推薦をお願いします。

募集締切：2020年3月31日（必着）

賞の概要及び推薦要領につきましては、以下ウェブサイトでご確認ください。

<https://www.jpff.go.jp/j/about/award/index.html>

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=442&m=45018&v=4a067219>

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=443&m=45018&v=ef8de217>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <http://krs.bz/scj/c?c=444&m=45018&v=21dd1ebf>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34